

芝浦工業大学後援会 常任幹事会議事録

日 時 2024 年 5 月 11 日(土)13:30～15:30

開 催 場 所 芝浦工業大学豊洲キャンパス本部棟 2301 教室及び Zoom 会議システムにて実施

出 席 者 (対面)宮本明彦、深井弘志、加藤千里、大越雅也、渡部麻弥、田本敬一、堀江顕、江川潤、鬼崎充司、東久子、寺岡薫、忠井清志、内山宗治
熊谷美保子、武田正、鷹羽真、鈴木晴美、宇津利枝、眞智洋二、田中紀子
斎藤泰弘、笠松知美、太田宏、富岡武史、林紀孝、近藤真紀、山田淳子
(オンライン) 増田高夫、朝火里津子、和田清美、竹中知身、永井貴弘、鵜飼美和、佐藤正樹、田口正弘、鳩原香、栗原美和子、伊藤克行、坂上由美子、長澤りえ、天埜伸子、金田早苗、林いづみ、四方まゆみ、小沢玲子、虎澤弥生、市橋五月、青島弘卓、山内慶太、近藤紀代子、松村一葉、西川宏枝、田村隆子、丹山英明、兼田通孝、田中律子、山崎洋子、藤井孝樹、呉田淳子、岩尾由香
(欠席者)北條勝彦、玉川祐之、佐藤美夏、斎藤フジノ、戸井真砂絵、西絵美
森江高子、穀田真希子、保坂純子、志田幸江、久保田佳克、三上亮人、秋山かおり、森みやび、横手朋枝、中村春佳、鈴木一平、大坪敦子、浅野公海子、脇本貴子、小山貴美、土居晶子、日野弘子、松田譲二、小畑栄一、澁田聡
(出席回答なし)長谷川浩、鉾建綾、大橋依、今村直子、胡井順生、吉田恵子
濱田善一、濱田康秀、江島澄康

議事録署名人 林紀孝、近藤真紀

事 務 局 西川政男、鈴木直江、松山香織、武藤祐馬、野田梨香、守屋知佳子(文責)

議題

1. 審議事項

- ① 2023 年度決算書の承認
- ② 2024 年度予算案の承認
- ③ 2024 年度定期総会資料の承認
- ④ 2024 年役員体制案の承認
- ⑤ 2024 年度常任幹事の選任
- ⑥ 2024 年度アクティブ・プラン募集要項・申請書の改正
- ⑦ 支部会計出納簿・出金伝票の記載要領の制定
- ⑧ 本部地域交流会(3 地域を予定)に関する総会案内の承認
- ⑨ 2024 年度芝浦祭物産展実行委員会の設立

2. 報告事項

- ① 2023 年度役員退任者について
- ② 能登半島地震被災地への支援について
- ③ 2024 年度父母懇談会について
- ④ 2024 年度食事支援について
- ⑤ 支部事務補助費について(今後のスケジュール)
- ⑥ その他 次回日程と内容

開催にあたり、事務局西川より、会則第 16 条第 2 項に基づき、議長に宮本会長を選任。

会冒頭、宮本会長より、横溝副会長の再任について、会則に基づき、すでに会員資格を失っているため、副会長として再任、また役員としての参加もなし。とのご説明があった。

また、個人への誹謗中傷を含んだ発言等、会の進行を妨げる発言は控えていただきたい、深井副会長へ副会長の自覚を持っていただきたいとのお願いがあった。

以下、敬称略

- 加藤 宮本会長から数か月にわたるパワハラを受けてきた内容、人事案が出された際、意見を出すことなども議事の進行を妨げることになるのか。
- 事務局西川 どういうケースのことを話されているのか。
- 加藤 現在は副会長全員に向けてそのような行為が行われている。三役の合意を全く取ることなく、会が進行していることにも疑問を感じている
- 宮本 パワハラの事実を初めて聞いた。私がそういったことをした記憶がない。
- 加藤 横溝さんの件について、大越監査役から最初に話があった際、私には黙っておくようにと言われた。これも立派なパワハラではないのか。
- 宮本 「黙れ」といった記憶はない。
- 事務局西川 質問の趣旨は発言をして良いかということか。
- 加藤 誹謗中傷ではなく、今起こっていることを皆さんお伝えしたかっただけです。
- 事務局西川 それらは本日の議案にはないため、進行を進めさせていただいて良いか。
- 加藤 はい。

1. 審議事項

① 2023 年度決算書の承認

資料に基づき事務局鈴木より説明。

4月13日(土)に後援会会計監査が豊洲キャンパスにて実施。

指摘事項について、4/20の常任幹事会にて指摘された部分の修正、決算書の予備費計上と
していた義援金(100万円)を慶弔費で計上に修正。

監査結果・指摘事項の詳細は添付資料をご参照ください。

【添付資料】1-①.2023年度決算(監査)について

➤ 添付資料の決算書および監査結果の承認について審議をお願いいたします。

審議結果:可決 賛成 50/52 人 反対 2 人

② 2024年度予算案の承認

資料に基づき事務局鈴木より説明。

2023年度決算確定により、2024年度への繰越金は6,045,085円となりました。

第二回予算編成委員会後、以下にまとめました。詳細・配分内訳については添付書類をご覧ください。

(予算案項目順)

学生関係事業援助・大学運営援助

- ・研究活動奨励助成費のグローバル教育支援 1,000万円
- ・教育等奨励助成費の教室AV機器更新 大学設備のため0円(不採用)
- ・大学運営援助の熱海セミナーハウス援助 1,000万円

総額 7,715万円

父母懇談会開催諸経費援助

- ・教師とのオンライン面談、キャンパスツアーに変更になるため、30万減

後援会奨学事業援助

- ・自活支援金が残る2学年分、朝日に輝く奨学金は申請なしのため減

後援会会報発行

- ・「しばうら」発行回数を1回分に削減

業務活動費

- ・会議渉外費 定期総会ハイブリッド開催とし、芝浦祭・勉強会費用を各項目へ移動
- ・旅費交通費 定期総会全員参加とし、地域交流会・芝浦祭・勉強会費用を各項目へ移動
- ・支部事務補助費 6支部合計 約333万円 各支部の内訳は以下の通り
北海道: 約41万円、東北: 約91万円、東海: 約71万円、
四国: 約40万円、中国: 約32万円、九州・沖縄: 約58万円

後援会各種活動事業

- ・福利厚生援助 健康支援 インフルエンザ昨年度同様の700万円
- ・福利厚生援助 食事支援(食育) 100円・200円朝食を昨年度より100万円増
- ・記念品制作費 卒業記念品450万円、入学記念品200万円
- ・地域交流会 開催地9カ所(1開催費用50万円)旅費交通費を項目内へ移動し645万円

- ・勉強会 開催費、旅費交通費含み 180 万円
- ・芝浦祭物産展 1支部物産代 8 万円、旅費交通費と会議渉外費を項目内移動し 204 万円
- ・予備費
993 万円

【添付資料】1-②.2024 年度予算案について

- 鬼崎 予算書案(詳細)の地域交流会の 6 地域 30 万×4 とあるが、4 は何を示すのか
- 事務局鈴木 地域交流会に本部から参加する役員 2 名と職員 2 名分となります。
- 大越 補足説明願います。予算の項目で予備費を新設、次年度繰越金の区別を今回から変更したが。
- 事務局鈴木 予備費を次年度の運転資金と説明させていただいたが、予備費は予算で足りなくなったところに補充するもの、運転資金の項目を記載することは不適切だと外部会計士より指摘あり。予算案から運転資金という言葉の記載を控えました。

➤ 2024年度予算案の承認について審議をお願いいたします。

審議結果:可決 賛成 51/53 人 反対 2 人

③ 2024 年度定期総会資料の承認

資料に基づき事務局守屋より説明。

- 「第 33 回定期総会開催のご案内」および「定期総会資料」を、下記のスケジュールの通り発送します。

総会までのスケジュール案

5 月 21 日(火) 保護者に開催通知郵送。

5 月 22 日(水)～6 月 5 日(水) 対面参加有無・書面に対する質問を WEB にて受付。

<6 月 8 日(土) 事前リハーサル>

<6 月 22 日(土) 当日スケジュール案> ※2019 年度スケジュール参考

11:00～12:15 希望者(先着 50 名)豊洲キャンパスツアー(学生アルバイトにて案内)

10:30～ 三役・議事録署名人集合、最終確認

13:00～14:00 後援会定期総会

司会:深井副会長

【議案 1】2023 年度 事業及び決算報告 ⇒ 説明者:加藤副会長

2023 年度 監査報告 ⇒ 説明者:大越監査役

【議案 2】2024 年度 事業計画(案)及び予算(案)について ⇒ 説明者:加藤副会長

【議案 3】役員の選出について ⇒ 説明者:宮本会長

14:00～14:40 講演 ⇒山田学長へ講演を依頼

15:00～16:30 懇親会

配布物

- ・総会資料冊子
- ・大学資料
- ・国際部資料
- ・エスアイテック資料
- ・大学院資料
- ・ネームフォルダ
- ・テクしばくんトートバッグ
- ・テクしばくんラベルの水

【添付資料】 1-④.2024 年度定期総会資料案について

・第 33 回定期総会開催のご案内

【添付資料】 1-③.2024 年度定期総会資料案についての通り。

- 深井 定期総会議案③について、2024 年度後援会各支部長候補者一覧の候補者は不要である。またいつの幹事会でこの候補者が決まったかを明記する必要がある。
- 事務局守屋 対応いたします。
- 鬼崎 総会案内状の出欠フォームより役員も出欠入力が必要か。
- 事務局守屋 すでに支部の皆さんから出欠をいただいているので不要です。
- 事務局鈴木 資料についてご質問のある方は、事務局に連絡をいただくことで良いか。
(出席の連絡が)ダブってしまうと人数が多くなってしまうため入力不要です。

- 1.当日の司会、説明担当者について検討をお願いします。
- 2.講演を山田学長へ依頼する提案に対し、検討をお願いします。
- 3.役員出席者について
3/23 幹事会での検討された「案②全員対面参加」についてご検討願います。
- スケジュール・定期総会・資料・項目ならびに 1～3 について、ご検討・審議をお願いいたします。

審議結果:可決 賛成 56/56 人 反対 0 人

④ 2024 年度役員体制案の承認

資料に基づき事務局西川より説明。

4/27 開催の臨時常任幹事会にて、新会長は、現会長である宮本明彦会長に続投いただくこととなりました。

その他新三役・新支部長は、添付の通りです。

【添付資料】1-④.2024 年度役員体制案について

- 2024年度役員体制案について審議をお願いいたします。

審議結果:可決 賛成 51/56 人 反対 5 人

⑤ 2024 年度常任幹事の選任

資料に基づき事務局西川より説明

新常任幹事は、添付の通りです。

【添付資料】1-⑤.2024 年度常任幹事選任について

■加藤 常任幹事就任について個別に確認がなかった。パワハラの件もあり、名前を消していただきたい。

■事務局西川 ご辞退のお話があったが、会長に以前よりお願いしているが議案については、皆さんご了承のうえで提出いただきたいと思います

■加藤 提出されている案に関して、副会長の合意はない。会長にすべて権限があり、何でも許されるこの状況がおかしいと思っている。

■事務局西川 今回の役員構成案については、会長が提示するものとなっている。(三役にて)事前に確認いただくのはその通りであるが、それを今、徹底をお願いした通りです。

■加藤 副会長の合意が取られていない。常任幹事会でも副会長ときちんと話をされてと、支部長方からも話があったが、話し合いの場の提案もあったが、返事のないまま今日を迎えていることをお伝えしておきたい。

■宮本 常任幹事に関し、1 月下旬に 5 時間ほど話した中で直接就任についてお話させていただいた記憶がある。誠心誠意尽くして説明したつもりでいる。私としてはもう 1 年常任幹事として残っていただきたいと思い提案させていただいた。

■加藤 5 時間の話し合いでの内容と後日に伺った理由が違いますのでお受けできない。毎回別の発言をしている。それで納得してほしいとは考えられない。ご辞退いたします。

- 2024 年度常任幹事の選任について審議をお願いいたします。

審議結果:可決 賛成 45/51 人 反対 6 人

※常任幹事案から辞退された加藤副会長を除いた案で承認となった

⑥ アクティブ・プラン募集要項・申請書の改正

資料に基づき事務局野田より説明

【実施内容について】

今年度のアクティブ・プラン選考会は、原則対面での実施とし、1 団体 10 分ごとにプレゼンを行います。

選考に参加した全役員は、選考会終了後期限までに、「アクティブ・プラン採点表」(Google フォーム)を事務局に提出していただきます。

事務局にて取りまとめ後、会長へ提出し、会長一任で各団体への援助金額を決定します。

(参加者と参加体制)

学生：対面

三役・常任幹事・支部長：対面 又は オンライン(午前中に、常任幹事会開催)

本部幹事：対面 又は オンライン

支部幹事：オンライン

(プレゼンのタイムスケジュール)

1 団体 10 分(プレゼン 5 分、質疑応答 3 分 30 秒、採点 50 秒)

(スケジュール)

5 月 11 日(土) 幹事会にて募集要項、申請書、予算書、ポスター確認

5 月 17 日(金) 募集開始

6 月 10 日(月) 募集締切

7 月 6 日(土) 常任幹事会開催日 午後より審査(13:00～)

7 月 16 日(火) 採択団体決定(会長一任で援助金額決定⇒幹事に報告)

7 月 19 日(金) 採択団体へ通知

その他詳細は、添付資料をご参照ください。

【募集要項・申請書について】

〈アクティブ・プラン援助金募集要項一部変更〉

5.申請提出書類「予算書記入の費目」(P.3)について、記載の変更

・費目「消耗品費」及び「その他」の詳細について、「1 個または 1 組の取得価額が 10 万円(税込)未満のもの」の「取得」を追記及び赤字に変更。※前年度申請団体で予算書の予算費目「消耗品費」・「その他」の「実際にかかる費用」に 10 万円以上の金額を記入し「援助金申請額」を 99,999 円と記入した団体があり、費目についての解釈に不明瞭なところがあったため。

※参照添付資料 1-⑥-1

〈予算書一部変更〉

・予算書「援助金申請額(円)」の欄を削除。※実際にかかる費用及びその 3/4 となる援助金上限額が分かればよいと考えるため各費目別の援助金申請額欄は必要ないものと考えます。

※参照添付資料 1-⑥-2・1-⑥-3

〈申請書一部変更〉

・「学内の他の援助金に申請有無の確認」の選択肢「学生プロジェクト」削除

2023 年度をもって支援制度「学生プロジェクト」は廃止となったため。

※参照添付資料 1-⑥-4

【添付資料】 1-⑥.2024 年度アクティブ・プラン実施内容・募集要項・申請書について

➤ アクティブ・プラン募集要項・申請書の改正についてご検討・審議をお願いいたします。

審議結果:可決 賛成 51/54 人 反対 3 人

※2023 年度最終活動報告書と会計報告書・活動写真をドライブ(「アクティブ・プラン」/2023/【10】最終報告)に置きましたのでご確認下さい。

⑦ 支部会計出納簿・出金伝票の記載要領の制定

資料に基づき事務局鈴木より説明

年度末に支部会計ご提出までを経験させていただき、資料の修正と、支部会計の年間スケジュールを作成しました。詳細は、添付資料にてご確認ください。

【参照添付資料】 1-⑦.2024 年度 4 月からの支部会計について

➤ 添付資料の支部会計年間スケジュール、支部会計出納簿・出金伝票の記載と提出について(案)の承認について審議をお願いいたします。

審議結果:可決 賛成 53/53 人 反対 0 人

⑧ 本部地域交流会(3 地域を予定)に関する総会案内の承認

今年度の本部開催地域交流会の候補日については以下の通りとなります。

本部候補日① 11/30

本部候補日② 12/14

本部候補日③ 1/25

開催地については、現在ホテル等手配中のため未定。6/22 の定期総会終了後の新体制にて詳細決定。

今年度につきましては定期総会開催通知の封書に、今年度実施予定の地域交流会スケジュールを「全保証人様」にお送りし、支部の地域範囲外の方にも地域交流会を周知(参加方法等含め)させていただきます。実際に送付するご案内文書については別紙資料をご確認ください。

また、開催日よりおおむね2か月前を目安に、各支部に所属する地域の保証人様へ向けて発信をいたします。その他、保護者ポータル(ScombZ)にて告知を実施。大学 HP や後援会 HP、

大学 X を通じて広報を行う予定です。

送付するチラシは別紙資料にてご確認ください。事務局にて作成するものはこちらのデザインを基に作成いたします。

開催内容につきましては支部開催・本部開催ともに前回の幹事会にてご説明いたしました内容にて開催を予定しております。また、今年度は校友会から卒業生にもご参加いただくよう依頼をしております。

【参照添付資料】 1-⑧.2024 年度本部主催地域交流会および開催地について

- 鬼崎 校友会から卒業生にもご参加いただくよう依頼をしているとあるが、これは本部だけの話か。
- 事務局西川 私より校友会事務局へ校友会の支部の方からもご参加をお願いしている。
- 鬼崎 支部の地域交流会にも卒業生、校友会の方々が参加する可能性があるということか。
- 事務局西川 可能性がございます。
- 加藤 本部開催地の大枠の地域を出させていただいた。完全に未定ではなく、全国の方を対象に今回募集される旨をどこかに記載いただくとよろしいのではと思うがいかがでしょうか。
- 事務局西川 本部開催地を通知に記載するということですか。
- 加藤 すべての地域に今回ご案内を出せるというところが、今年度の大きな違いだと思う。
- 事務局西川 各支部交流会の案内を全国にするという話を前提にされているのか。総会の案内に同封する資料の話でいらっしゃるのか。
- 加藤 総会に同封する案内のこと。ご案内が行き届いていない地域に対して今後行っていくことをしっかりとお伝えすべきかと。
- 事務局西川 地区については新体制で検討されるという話のため、いたずらに記載してしまうとご期待をもたれてしまう可能性があるかと思い、未記載に同意をしました。
- 加藤 案内が出せない地域が出てくる可能性があるのか。
- 事務局守屋 ご案内は全保証人様に送付となる。案内には「上記以外の開催地日程については、後援会ホームページおよび保証人ポータルにて告知を予定しております」との一文を入れているが、それでは不足という認識でよろしいか。
- 加藤 全保護者に向けて参加できる場所があるという情報を提供することが大事と思ってきた。後援会費をいただく皆様に均一に情報提供している姿勢を示していただきたいと思いご提案した。
- 事務局西川 関東地区・関西地区・北陸地区での開催を検討していくとの表記で良いか。
- 加藤 大学周辺地区については、父母懇談会にて後援会として情報提供の準備があると

いうことを、皆さんにしていきたいと思います。と思っている。

- 事務局西川 父母懇談会については、実施案・日程・内容について決まっているが、まだ学内の承認を得られていないため、案内への記載は出来兼ねます。(本部)開催地区については、表現を検討し記載するようにいたします。
- 加藤 前回の予算委員会で内容はともかく、大学周辺地域にもきちんとサポートしていくのは確実なお話で、そこを省いて計画を立てたと思ったが。そこについて未確定なのか。
- 事務局西川 まだ大学の中で承認が取れていないと言っている。企画部署は豊洲学事部であるため、未確定なものを記載は出来兼ねる。
- 深井 一つ補足を。予算委員会の中で、本部主催地域について、関西地域・甲信地域・北陸地域が候補として挙がっていた。予定しておりますと、総会案内資料として皆様に伝わればよろしいかと思う。それを踏まえて書き加えていただければ。以上です。
- 加藤 もう一点。どちらの会場でも参加いただくことが可能です。という表現も入れていただきたい。案内がなければ参加できないと思われないう、皆さんが情報を得ていただけるような案内をしていただければ。よろしくお願いします。
- 鬼崎 校友会から卒業生にご参加いただくところがあるが、こちらからの依頼か、校友会からのご提案か。今後(校友会の方に)会ったりするので、内情を聞いておきたいと思い。
- 事務局西川 こちら(事務局)からお願いをしております。

- 本部主催地域交流会のスケジュールおよび送付文書について、ご検討・審議をお願いいたします。

審議結果:可決 賛成 54/56 人 反対 2 人

⑨ 2024 年度芝浦祭物産展実行委員会の設立

資料に基づき事務局守屋より説明

今年の芝浦祭は、11月2日(土)～4日(月)に開催が決定しています。

4月11日(木)実行委員会から物産展の依頼がありました。後援会主催の芝浦祭物産展を今年も実施する場合の日程は現在未定です。

- 芝浦祭物産展実施可否および芝浦祭物産展実行委員会の設立可否について、ご検討・審議をお願いいたします。

審議結果:可決 賛成 52/54 人 反対 2 人

※実行委員会の設立については、定期総会終了後、事務局よりフォームを送付、立候補・回答をお願いすることとなった。

2. 報告事項

① 2023 年度役員退任者について

今期にて 19 名の方が退任となります。大変お疲れ様でございました。

詳細は、添付資料にてご確認ください。

【添付資料】 2-①.2023 年度役員退任者について

② 能登半島地震被災地への支援について

後援会より義援金を支援していただいた NPO 法人ボランタリー・アーキテクト・ネットワークの活動を報告致します。能登半島地震による避難所への紙などを活用した間仕切り設置や、被災者支援を継続して行っています。

【添付資料】 2-②.能登半島地震被災地への支援について

③ 2024 年度父母懇談会について

2024 年度の父母懇談会は 8/31 に豊洲・大宮両キャンパスにて、全体会(ライブ配信あり)と事務部署個別面談、両キャンパスツアー(自由見学)、懇親会を検討。

■長澤 昨年度ゼミの先生との面談をオンラインで予約したが、先生に参加いただけず面談が出来なかった。

■事務局鈴木 先生に代わりお詫び申し上げます。面談を再度ご希望される場合は、父母懇談会期間外でも受け付けております。長澤様以外でもご心配事がある方は、学生課までご連絡いただくか、事務局にご連絡いただければ学生課と共有しますので、ぜひご相談ください。

■長澤 学生課の電話受付が 15 時までで連絡が出来なかった。

■事務局鈴木 大変申し訳ございません。学生課が土曜日の営業時間を短縮しており、平日は 17 時まで実施しております。まずはメールをいただければ、学生課より折り返しご連絡があると思います。後援会事務局にご連絡いただければ、連携いたします。

④ 2024 年度食事支援について

3 月 23 日の幹事会にて、食事支援援助金として 600 万円を承認いただき、昨年同様、通年(平日授業日年間約 140 日)で大宮・豊洲両キャンパスにおいて 200 円・100 円朝食を実施いたします。

期間:2024 年 4 月 15 日～2025 年 1 月 27 日

提供食数:217 食/日(大宮 117 食・豊洲 100 食)

【添付資料】 2-④.2024 年度食事支援について

⑤ 支部事務補助費について(今後のスケジュール)

・2024 年度支部補助費(前期分)を 4/3 付でご指定の各支部口座へ振込みいたしましたので、ご確認ください。

・2024 年度年度支部補助費(後期分)は 8/1 に振込を予定しております。

⑥ その他 次回日程と内容

1. 会長からのご提案

・施設見学について

後援会役員参加の施設見学を企画中。

日鉄エンジニアリングの物流センター、清掃工場の立て替え現場

詳細が決まり次第、皆様にアナウンスいたします。参加費用は後援会費から出費はなく自費参加となります。

2. 事務局より

・後援会会議日程の最新版をご連携いたします。

【添付資料】 2-⑥.2024 年度後援会会議日程_最終版

※後援会 HP「役員専用」ページ(PW:shiba2023)からもご確認いただけます。

・後援会広報誌だよりしばうらについては、2024 年度の冊子での発行は年 1 回とし、取材を開始しております。

・お問合せを頂いておりました支部監査役は規約にある通り、支部長にて任命をお願いいたします。

その他

- 竹中 冒頭の 3 点について、①横溝さんの退任は退任の意思が出来たときに退任になるということで間違いないか。②また三点とも議事録に記載されるか。③三役が揉めていることが表立っているが、運営として円滑によろしく願います。
- 事務局西川 ①については、会長に直接退任の意思が伝えられたということを聞いている。またエビデンスもあり、資格の話もあるため、退任と考えている。②三点とも入ることで問題はございません。③事務局としてもぜひお願いしたいところです。
- 宮本 揉めているという表現があるが、会の進行等進めるうえで意見の食い違いと議論はあると思う。議論しているうえですので、ご理解いただきたい。
- 堀江 横溝さんの退任の件、他の副会長のお二人はわかっていたのか。会長だけなのか。
- 宮本 グループ LINE に出ていたため、皆さん見ている。三役・複数のグループ LINE に入っていて、スクリーンショットも取り、事務局にも提供している。それも記録として取っている。
- 深井 これについては見解の相違。私は承知していないとこの場で申し上げる。
- 加藤 私も同様に承認したかと言われると、承認した覚えはございません。
- 大越 LINE に入った段階で、ご本人のご意向ということで、第三者が認めることではないので、そのままお聞きした。その後事務局にも退任のメールが入っているということ

で事実を確認した。

- 堀江 前回横溝さんが来たこと、その場で復活したことが、ただの茶番にしかすぎない。三役でちゃんと話をされていないのか。
- 宮本 4月20日の常任幹事会に横溝さんがいらっしゃるという話を聞いたのは、開催1時間前を切った段階。それより少し前に事務局には連絡があったと聞いている。
- 堀江 その時断ればよかったですね。
- 事務局西川 議題の中には入れないということだった。横溝さんが何か話をするとは聞いていなかった。
- 堀江 決取りましたよね。戻す話は、なぜ決を取ったんですか、前回。
- 宮本 取った方がいいと鬼崎支部長が提案された。
- 鬼崎 議題に載っていない話は関係ないということ言ってるんですね。
- 宮本 前回出席した方からも三役で同意がない議題にないことをやっていいのかと。相談役の提案で意見を聞きたいということに関しても、だいぶ強い反対意見があったと思うが。
- 堀江 そうじゃなかったけれども、やったじゃないですか。
- 宮本 事前の調整がなく、あのまま進んでいった。私・大越監査役・事務局・出席していた常任幹事は寸前まで知らなかったのが事実。そこであのような流れになってしまえば、その場でできる対応をするしかないというのも事実だった。
- 堀江 まあルールに従ってなんでしょうけど。この間の流れ的には、しょうがないよね的な話の流れでいいのではという話じゃなかったんですか？と僕は思っていたが、もうダメなんですか。やっぱり。
- 大越 いろいろ相違があるかもしれないが、4月20日の常任幹事会の前に、その前の三役の話し合いで横溝さんに辞めた経緯をご本人から聞きましょうという提案され、深井副会長が窓口となって、説明にきてもらうということをお願いをした。ところが、4月20日12時少し前に、深井さんから（横溝さんが）いらっしゃることになりました。とLINEがあったが、事務局へは、横溝さんを戻すために来てもらうという説明をした。ここで齟齬がある。私どもは説明に来てもらうということで話を進めたが、この場で横溝さんに戻ってもらう形を取りたいということになったため、事務局の方でそれはやめて欲しいということになり、議事の外でということになったと。実は私自身も、戻っていただきたかった。戻るといふ形になったのは、僕自身もよかったなと思っていた。しかし実際は20日の常任の時にも、その前の幹事会の時にも退任の議事録として出ている。会則に合っているのかいないのかが重要であり、この後、来年再来年十年後、20年後にこの今回の判断が合っていたのか間違っていたのかということを検証された時に、我々が間違った判断をしたということになると永遠に残る。だから、慎重に考えました。会則をどういう風に解釈するか、会則には細かい記載がない。退任を想定していない。どういう経緯となったのかという話になった時に、事務局と考え方が一致し

たのが、2月18日に退任の意思を表明された。その次の幹事会で議事録に載った形で承認というか報告があったことで、その段階で退任の意思を表明したということ。後援会の会員資格というのは、学生が学籍を失った段階で会員資格がなくなる。ただし、現役員は総会の日まで延長されるということ。ご子息が3月19日に卒業した段階で会員資格がなくなっていることになる。後援会の会員でない方は副会長になれない。むしろ幹事にすらなれない。要するに、このことが総会の議案になることもない。議事録に残っている会議の結果を後から覆すことができたなら何でもありになってしまう。それを許すのかという話。

- 竹中 3月23日の議事録承認への署名人です。3月23日に宮本会長の横溝さんの退任というその一言について、事務局も交えてやり取りをしている状況では、詳細は載せないというご回答いただいたということで、間違いはないか。
- 事務局西川 具体的に私も確認しましたが報告であった。横溝さんの退任は報告されたものと認識している。
- 竹中 4月3日に宮本会長により議事録には載せないというご回答をいただいているので、3月23日までは議事外ではないかと思うのですが。
- 事務局西川 議事録には記載があります。
- 竹中 やり取りしたメールも残っており、会長の最終回答は含まないということになっているようだが。
- 事務局西川 議事録に書いていないとおっしゃりたいのか
- 竹中 お載せになりませんか、(会長に)問い合わせた際の回答が、載せないとの回答であった。議事には退任についての説明の一文。大越監査役は過剰に評価されているのではと思う。録音を聞いていただければ、(横溝さんは)まだ経過を説明しているにとどまっているため、議事録署名人として確認をお願いしたいと思っている。
- 大越 宮本会長のあいさつの時に退任されることについて報告し、その説明、経過説明については議事終了後にしますよと記載されている。経過内容ではなく、退任されたという事実がどこなのかということを申し上げている。
- 竹中 会長としては退任を承認されたのですかと答えを求めた際には、承認も何も本人とまだコンタクトが取れていない状態だと(やり取りが)残っているので、まだ(退任は)保留なんじゃないかというのが私の感覚でしたが、そこは相違しているということですね。
- 事務局西川 議事には載っています。
- 大越 議事に載っている。議事に退任の報告がされているため議事に載っていることになる。経過説明については議事外であるが。
- 竹中 報告しますという事実が載っているだけで、退任しましたという事実ではないということだけは何度もやり取りをしてるので事実かなと思うが。
- 眞智 私も前回の議事録署名人である。議事録から見ると限りでは退任したということを経

事会で報告されたと載っているという解釈で良いのではないかと思います。そのあたりは解釈の話になるため、これ以上話し合っても仕方がない気がしている。難しい話だと思うが、どこかで納めて行かないと、決めたことであれば、これでいくしかないのではと私個人は思っている。三役の方が分裂したような感じになってどうかと思うが、どこかで決めていかなければいけないのも事実である。そこは皆さんご理解いただき、後援会はこれからも来年以降も続いていくため、ボランティア活動に余り揉め事があるのはよろしくないという思いがある。

■宇津 皆さん横溝さんのことをすごく考えて感情的になってお話されているが、少し落ち着いて一度整理させていただいてもよいか。幹事会に出ていないので横溝さんが辞退された理由は何か。それが解決したから戻りたいのか、お話を聞きたい。

■事務局西川 前回の常任幹事会の場で横溝さんが会議終わった後にその話をされている。内容を詳細には覚えていないが、信用できなくなったといったお話をしていた。先ほど申し上げた通り、2月18日に辞任の申し出があった。副会長の選任は総会でしか決められないため、その前年度の総会で選出された横溝さんが2月の時点で辞任をしたという事実がある。3月23日に会長から退任について説明があり、その経緯を踏まえ、監査役が申されている通り、3月31日、お子様の卒業をもって後援会会員としての資格は消滅している。会長からも幹事に戻っていただく資格がないとの説明もあり、私としてはその通りだと認識した。それが経緯。

■加藤 こういったことが細かい圧かと思う。横溝さんの件について、1時間前まで知らなかったとおっしゃったが、三役LINEの中で4月16日の時点で深井副会長より留任のお願いの連絡があるとお伝えしており、既読になっている。留任のお願いであるということは、事前にご存知だったはず。これを当日まで深井副会長が伝えられなかったかのような、責任を負わせるような発言。こういうことの積み重ねが副会長と会長の間の溝を大きくしている、一つの例である。全てを申し上げることは出来ないが、このような形の圧が、副会長には常に突きつけられてきた現状があることも理解していただいた上で話をさせていただきたいと思う。

■和田 この退任の件は永遠に続くのか。もうご子息もご卒業され、十分に横溝さんも役割を果たしたかと思うし、ここで横溝さんの退任の件をお話しするより、今後の後援会の運営をスムーズに行うことを皆さんで審議された方がいいかと。三役でもないのに圧があるとかないとかわからないが、やはり運営をスムーズにするにあたっては、皆さんが協力や多少の妥協をしていただいて、まずは学生のための支援の運営をスムーズにしていけたらいいかなと思う。以上です。

■宮本 横溝さんの件を皆さんでいろいろ議論をするとOB・OGとして出てきてもらうのも出づらくなってしまうし、場合によっては私たちも相談することが出てくると思う。その辺は私としては配慮していただきたいと思っております。敵対しているわけではない。今後も長い人生横溝さんとお会いする機会が必ずあるので。

次回 6 月 22 日(土) 13:00～16:30 第 33 回定期総会

以上

会 長 宮本 明彦 (2024 年 5 月 27 日 確認)

議事録署名人 林 紀孝 (2024 年 5 月 27 日 確認)

議事録署名人 近藤 真紀 (2024 年 5 月 27 日 確認)